

第6回 仁淀川水系流域治水協議会  
第6回 仁淀川大規模氾濫に関する減災対策協議会  
仁淀川・物部川・高知海岸水防連絡会  
議事概要

日時：令和3年6月3日（木） 13:00～14:45

場所：WEB開催

## 1. 議事

### (1) 水防に関する情報について

事務局より、水防に関する情報について説明。

○（土佐市）

WEB会議はどのようなタイミングで開催することを想定しているのか。自治体によって災害対策本部を立ち上げる基準が異なるため、タイミングが難しいのではないかと。

○（高知河川国道事務所）

明示的な基準は設けていないので、その都度協議して決めていきたいと考えている。案としては、沿川の2～3の自治体が災害対策本部を立ち上げたタイミングや、過去の実績から災害が発生する可能性が高いと考えられる際に開催することを想定している。WEB会議を常時接続しておき、数時間おきもしくは情報が必要となった段階で、情報共有を行うことを考えており、これまで電話やFAX等で個別に連絡を取り合っていたことに対し、近年普及が進んでいるWEB会議を有効に活用することで情報共有が効率的になると思われる。

○（越知町）

越知町は大渡ダムと四国電力の筏津ダムからの放流情報を災害対応の判断に使用している。今回大渡ダムで放流量と伊野地点水位との関係を分析されていたが、筏津ダムの放流量と水位の関係についても分析いただけないか。

○（高知河川事務所）

筏津ダムはより下流に近いので、分析は有用だと思われる。四国電力にもご協力いただき、分析をしていきたい。また、越知町での災害対応の判断基準について次回協議会にて事例紹介・共有をお願いしたい。

○（土佐市）

夜間の避難は困難なため、これまでの経験から15時頃には情報を集約するようにしている。このことから、避難に資する情報は14時から15時頃にいただきたい。また、流域自治体の災害対策本部設置状況について、リアルタイムで把握できるようにしていただきたい。

○（高知河川事務所）

ご意見を踏まえて、14時から15時頃に情報提供を行えるよう検討する。夜間の避難は難易度が高くなるため、早めの呼びかけが必要ということは認識しているが、切迫していない状況で呼びかけるとかえって避難してもらえなくなるという懸念もある。時間帯と雨・水位の状況も踏まえて、情報提供のタイミングを検討していく。

○（高知地方气象台）

情報の発表の時間帯については、我々も懸念しているところである。気象予測データが入ってくる時間帯から遡って16時に発表することがスタンダードであるが、それ以前の段階における情報でも大まかなシナリオを立てることは可能であるため、発表のタイミングを模索していきたい。

## **(2) 「水防災意識社会再構築ビジョン」の第2期取組方針について**

事務局より、「水防災意識社会再構築ビジョン」の第2期取組方針について説明。

○特に意見等なし。

## **(3) 流域治水について**

各構成員より、各機関の取組事例等を紹介。

事務局より、今年度の具体的な進め方（重点的に議論する部会の設立）について説明。

○（高知県危機管理部）

今年度より部会を立上げて地域ごとに検討するとのことだが、それぞれの良い対策方法を共有する場が「本川総合対策」の部会であるという認識で良いか。

○（高知河川国道事務所）

仁淀川の各地区は地域特性や氾濫特性が異なり、避難の厳しさに幅があるため、地域毎の部会の設置をご提案した。「本川総合対策」は主に仁淀川の河川整備を議論することを想定しており、それぞれの部会で議論した内容については、流域治水協議会で共有する。逃げ方など各地区で共通する課題については、合同部会を立ち上げて議論することも考えられるため、構成員の皆様のご意向によって決めたい。

○（日高村）

日下川においては、特定指定都市河川浸水被害対策法の指定を受けるべく取り組んでいるところだが、日下川の流域には佐川町も含まれるため、同町にも日下川の部会に参加いただくことが望ましい。

○（高知河川国道事務所）

佐川町は本日の部会には都合がつかず参加いただけませんが、後ほど情報共有をしておく。

－以上－